

瀬戸陶芸協会設立80周年記念
瀬戸市美術館特別展

瀬戸陶芸の歩みと

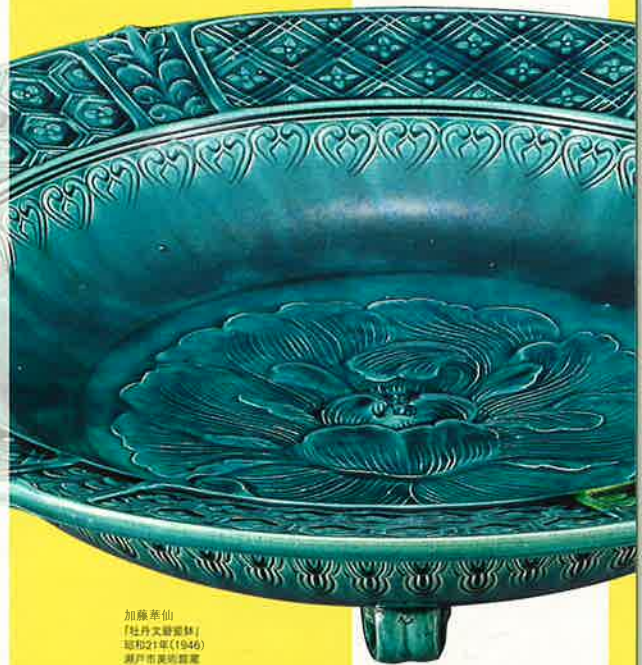
瀬戸陶芸協会の今



加藤令吉
「響」
平成28年(2016)
作家展



加藤士節明
「透彫牡丹文湯台鉢」
大正14年(1925)
瀬戸市美術館蔵



加藤善仙
「牡丹文繪雲鉢」
昭和21年(1946)
瀬戸市美術館蔵

平成28年

6月4日(土)～7月31日(日)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 6月14日(火)、7月12日(火)

入館料 一般…500円(400円…20名以上の団体)

高大生…300円(240円…20名以上の団体)

中学生以下、妊婦、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料

主催 瀬戸市美術館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団、瀬戸陶芸協会
助成 公益財団法人せとしん地域振興協力基金

瀬戸市美術館
Seto City Art Museum

〒489-0884 愛知県瀬戸市西沢町113-3
TEL 0561-84-1093 FAX 0561-85-0415
E-mail art@city.seto.lg.jp URL <http://www.seto-cul.jp/>

瀬戸陶芸協会会員

- 天野勝義
- 岩淵寛
- 岩淵幸治
- 梅田洋生
- 梅村拓弘
- 梅村知征
- 梅本孝典
- 太田公貢
- 太田貢生
- 大津範江
- 梶原花出
- 春日井鋼介
- 加藤勝利
- 加藤錦三
- 加藤圭史
- 加藤作助
- 加藤隆倫
- 加藤達伸
- 加藤唐三郎
- 加藤佳宏
- 加藤令吉
- 加藤廉平
- 亀井幸一
- 亀井勝次
- 近藤功葉
- 近藤葉子
- 柴田正弥
- 鈴木克郎
- 鈴木五郎
- 滝川幸志
- 竹内真吾
- 田代尚照
- 棚橋淳二
- 谷口美平
- 谷口春二
- 田沼博民
- 田畑重和
- 長江重助
- 中島卓典
- 波多野正弥
- 藤本磨川
- 堀川展吉
- 松野陶和
- 水野教雄
- 宮地生成
- 森脇文直
- 山田進二
- 山根宏一
- 米山雅司



長江明治「鳥文大花瓶」 昭和前期
瀬戸蔵ミュージアム蔵



加藤青山「青釉草花文手鉢」 昭和21年(1946)
瀬戸市美術館蔵



河本五郎「色絵捺乱の箱」
昭和49年(1974) 瀬戸市美術館蔵



鈴木青々「彩砂磁錦蘭盤」 昭和59年(1984)
瀬戸市美術館蔵



亀井 勝「風物語・再び」 平成26年(2014)
作家蔵



加藤作助「織部条紋花器」 平成22年(2010)
作家蔵



交通案内
 ・JR名古屋駅から(所要時間約1時間)
 地下鉄東山線で「栄」へ。名鉄瀬戸線に乗り換え「栄」から「尾張瀬戸」下車、徒歩13分。
 ・「名古屋IC」から「長久手IC」まで(所要時間約30分)
 東名高速道路「名古屋IC」から「長久手IC」を降りて瀬戸方面へ。グリーンロード「愛・地球博記念公園」、または「八草IC」まで行き、左折(北)し、瀬戸市街地へ。
 ・「せと赤津IC」から(所要時間約10分)
 東海環状自動車道「せと赤津IC」を降りて瀬戸方面へ。

瀬戸市美術館

Seto City Art Museum

【問合せ先】 瀬戸市美術館 / 瀬戸陶芸協会事務局
 〒489-0884 愛知県瀬戸市西沢町113-3 瀬戸市文化センター内
 TEL/0561-84-1093 FAX/0561-85-0415 E-mail/art@city.seto.lg.jp

瀬戸で最初の創作者集団は、大正3年(1914)に設立された「瀬戸図案研究会」です。この会は、愛知県立陶器学校(現・愛知県立瀬戸窯業高等学校)の図案教師であった日野厚が中心となり出来た研究会で、陶磁器図案展覧会の開催、図案集の発刊など当時としては先進的な活動を行っていました。そして、瀬戸図案研究会の設立を契機として、瀬戸において陶芸家集団が次々と誕生します。大正13年(1924)には、加藤土師萌等によって「土の風景社」が設立されます。「土の風景社」は、瀬戸在住の若手陶芸家の集いとして、長江明治等が中心となって「土の風景社」が設立されます。「土の風景社」は、昭和7年(1932)には藤井達吉の教えを受けて「作陶会」と名を変えます。また、昭和5年(1930)には、加藤華仙が中心となって「春陶会」が結成されます。そして、昭和11年(1936)6月20日、顧問に板谷波山・加藤顕清・日野厚を迎え、「作陶会」と「春陶会」のメンバーを中心とした「瀬戸陶芸協会」が設立されました。瀬戸在住の陶芸家が会派を超え、一致団結して結集したことは大変画期的なことであったといえます。

今年はこの瀬戸陶芸協会が設立80周年を迎える記念の年です。発足から80年経った現在でも、50余名の会員を有し、作品発表や研究会などの事業を活発に開催しており、瀬戸を代表する陶芸団体として活動しています。このように80年の歴史を有する陶芸団体は世界的に見ても瀬戸陶芸協会だけといえます。

本展では、瀬戸陶芸協会設立80周年を記念して、現在の瀬戸陶芸協会会員・準会員の作品を一堂に展示するとともに、瀬戸陶芸の確立に寄与されてきた物故の陶芸家の作品を展示いたします。瀬戸陶芸の歩み、そして瀬戸陶芸の技と美をご覧ください。

講演会「瀬戸における個人作家と陶芸制作の歩み」
 講師・唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館工芸課長)
 日時・6月4日(土) 午後1時30分～
 場所・瀬戸市文化センター文化交流館22会議室
 定員・80名
 (定員を超えた場合は入場をお断りすることもあります)
 ※事前申し込み不要、参加費無料

「ギャラリートーク」
 (当館学芸員及び瀬戸陶芸協会会員による作品解説)
 日時・7月3日(日) 午後1時30分～
 7月3日(日) 午後1時30分～
 場所・美術館展示室事前申し込み不要、要入館料

「陶芸作家工房めぐり」
 瀬戸陶芸協会会長 加藤令吉氏と常任理事 長江重和氏の工房を訪れ作家の説明を聞きながら、工房を見学するツアーです。
 日時・7月2日(土) 1回目 午前10時出発
 2回目 午後2時出発
 文化センター駐車場に集合していただきマイクロスパスに乗換えて移動します。(所要時間約2時間の予定です)
 定員・各回20名(事前申し込み必要、先着順。定員になり次第締切。)
 参加費・無料
 応募方法・6月4日(土)10時より受付を開始します。
 参加ご希望の方は電話にてお申し込みください。
 電話0561-84-1093

「ワークショップ マイカップ作り」
 造手技法でフリーカップ(2個)に星座の装飾をしていきます。
 出来上がったカップは焼成後お渡しします。
 講師・鈴木克郎氏(瀬戸陶芸協会)
 日時・7月9日(土) 午後1時30分～
 場所・瀬戸市文化センター文化交流館22会議室
 定員・20名(事前申し込み必要、先着順。定員になり次第締切。)
 参加費・1500円
 応募方法・6月4日(土)10時より受付を開始します。
 参加ご希望の方は電話にてお申し込みください。
 電話0561-84-1093

次回展覧会案内
 愛知県立芸術大学創立50周年記念 瀬戸市美術館特別展
「陶芸&陶磁器デザイン2016—愛知県立芸術大学陶磁専攻卒業生・修了生選抜展—」 8月6日(土)～9月25日(日)

近隣施設のご案内
 愛知県陶磁美術館 TEL 0561-84-7474
 特別企画展
 「沖繩の工芸—琉球ガラス・陶磁器・染織・琉球漆器—」
 4月16日(土)～6月19日(日)
 企画展
 「弥生への旅 朝日遺跡—2000年前のキャラヴァンサライ—」
 7月2日(土)～8月28日(日)
 瀬戸市新世紀工芸館 TEL 0561-97-1001
 「岸本耕平 松藤孝一」3月26日(土)～6月19日(日)
 「道川省三 瀬口吉則」6月25日(土)～9月18日(日)

瀬戸蔵ミュージアム TEL 0561-97-1190
 企画展「瀬戸染付×扇—明治に華をらいた花鳥文茶籠の絵画—」
 5月14日(土)～7月10日(日)
 4月1日(金)～6月27日(月)
 「新出土品展—門前B窯跡と音玄窯跡の成果報告—」(仮称)
 7月16日(土)～9月11日(日)

瀬戸染付工芸館 TEL 0561-89-6001
 「文様をまとう—瀬戸染付に咲く花々」
 4月1日(金)～6月27日(月)
 「君は未来のやきもの博士 瀬戸染付って何？」
 6月29日(水)～9月26日(月)